

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1977
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.50, No.6 (1977. 6) ,p.96-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小池隆一先生追悼記事
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19770615-0096

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昭和五二年四月一七日に本塾大学名誉教授小池隆一先生が七八年にわたる生涯を閉じられた。

先生は大正一〇年慶應義塾大学をご卒業後昭和四四年にいたるまで慶應義塾をご退職になるまでほぼ五〇年間義塾において教鞭をとられ、ご退職になり名誉教授になられてからもしばらく教壇に立たれていた。先生のご専攻とする領域が民法という法の基本的分野であり、現在慶應義塾に奉職する者は、法律学科にかぎらず、政治学科、経済学部、商学部を問わず先生の教えを受ける機会のある者が大半であるといつてもいいすぎではない。大きな声で理論整然と説かれる活気にあふれた講義を思い出す者も少なくないと思われる。

さらに、先生は戦後の厳しい折に学部長として学内行政に当られ、さらに、義塾高等学校の校長、通信教育部部長といった学内の多くの役職を負擔された。先生の明朗な、わけへだてのない、誠実なご性格は、学生に対しても、スタッフに対しても常に労をいとわず教え指導し、多くの教学・研究上の刺戟を与えられたことを忘れることは出来ない。

教師として優れた先生であると共に、先生は学者として数多

くの業績を残された。とりわけ民法の全分野にわたるテキストを完成されたことは、わが国でもその例は少い。しかも先生は多数に流れず、たとえ少数説といえども自己の信ずるところを常に明らかにされていたのである。戦後多くの役職に当り多忙を極める中にあつても、準契約・事務管理の研究といつた優れた労作を出されたり、あるいは人工授精の研究に見られるような新しい視点での研究への優れたアドバイスを欠かされることはなかつた。

先生の学績・人格は学外においても知られるところであり、学会において知己をえられると共に、学術会議委員、武蔵野市公安委員といった学外における負担も快く受けておられた。

顧みれば、この追悼をする「法学研究」そのものが小池先生のご努力によつて創刊されたものであり、わたくし達後進としては先生の育てられた学部と共に、この「法学研究」の一層の充実と発展の責任を果して行く任務を負っているものと考えている。

本号に先生の追悼のために記事を寄せられた諸先生に感謝申し上げ、重ねて先生のご冥福をお祈りする次第である。

法学研究編集委員会